

北海道・東北ブロック令和8年度林業グループコンクールが開催されました

令和8年8月24日、秋田県秋田市で全国林業研究グループ連絡協議会等が主催する北海道・東北ブロック令和8年度林業グループコンクールが開催され、各道県の代表グループによる活動発表が行われました。

岩手県からは、岩手県林業団体青年部連絡協議会(以下、林団)の澤幹信会長が、「プロボノで始まるZOOっと一緒に森林づくり～盛岡市動物公園ZOOMOの森林整備と環境教育～」と題して発表しました。



発表する澤会長

林団は、「岩手県木材青壮年協議会」「岩手県林業経営者協会」「岩手県林業研究グループ連絡協議会」「岩手県森林組合青年部連絡協議会」「ノースジャパン素材流通協同組合青年部会」の5つの林業関係団体の青年部で構成された団体で、地域林業の振興への寄与を目的に活動しています。

今回の発表では、林団が令和6年度か

ら行っている盛岡市動物公園ZOOMOと連携した「森林整備活動(かかり木や根むくれした立木、落下の危険性がある枝条の処理)」や「子供達への木育活動(薪割り体験)」について発表しました。

審査講評では、林業のプロとして真摯に取り組み、安全快適な公園整備を行っていることや、森林整備で発生した丸太を薪割り体験に活用し、その薪がZOOMO施設内の薪ストーブ燃料として活用されているという資源循環は、生きた環境教育になっていると評価され、7道県中、宮城県に次ぐ第2位となり表彰されました。

林団では、今年度からニホンイヌワシの飼育ケージ周辺の山林を「実際にイヌワシが暮らせるような明るい森林空間」へと整備していく計画に参画し、計画的な間伐により、里山の生息地モデルを創出することとしています。

これからも、林団の活躍に注目です。



第2位入賞を記念しピースで撮影する岩手県メンバーら